



福田久美子
(共産党)

安心して子どもを預けることができる保育行政を

問 市内の認可外保育施設における乳児の死亡事件は、保育行政の信頼を揺るがした。子どもの命が犠牲になるまで見過ごされたことが残念である。

①複数回あった告発内容について、その後の立入調査で十分な事実確認がされたとはいえず、市の責任を認めるべき。
②今後の対策として、抜き打ちでの立入調査を行わない理由は何か。
再発防止をどのようにするつもりか。

答 ①児童福祉法や国の通知で示されている指針・基準に基づき、立入調査などにより施設状況を把握し、指導監督を行

うなど、適切に対応したと考えている。このため対応の正当性については裁判の中で主張していく。

②これまでも国の指針を踏まえ、事前通告なしの立入調査を行ってきたおり、今後とも引き続き適切に対応していく。

また、現地点では、消防や建築指導課との合同立入調査など指導監督の充実・強化に取り組んでいる。

なお、現在国において教育・保育施設での事故の再発防止に向けた検討が進められていることから、その動向を踏まえ、今後、認可外保育施設に対する指導監督の充実強化に努めていく。



その他の質問項目

①市長の政治姿勢(被災者支援、高齢者インフルエンザ予防接種) ②LRT導入計画 ③LGBT(性的少数者)への対応④多胎妊婦への健康診査の追加助成⑤子ども・子育て支援新制度の課題



金崎芙美子
(自民党)

「子育て世代包括支援センター」の整備を

問 核家族や地域の結びつきの希薄化などによる孤立感や、出産直後の健康面での悩みや育児不安など、様々な悩みを抱える子育て家庭が増加傾向にあり、妊娠出産・子育て期まで切れ目のない支援の充実が重要である。

①子育ての不安や悩みを抱える妊産婦などに対し、どのような支援を行っているのか。
②国が推進する「子育て世代包括支援センター」を積極的に整備すべきでは。

答 ①出産直後の母親や乳幼児の健康維持のため、生後4か月までの乳児のいる家庭を全戸訪問

する事業や乳幼児健康診査、保健師による訪問指導などを実施している。特に支援が必要な家庭は、妊娠届出時から相談支援により、妊婦の心身の状況や家庭環境などを把握し、医療機関や福祉部門と連携した早期支援に努めるなど、様々な事業を通しきめ細かな支援に取り組んでいる。

②国が示す支援プランを新たに作成し、関係機関と情報を共有するなど継続的に支援を行うことで、よりきめ細かな切れ目のない支援が可能になると考える。今後、関係機関との情報共有のあり方や効果的な実施体制など、市の実情に応じたセンターのあり方について検討する。

その他の質問項目

①市長の政治姿勢(災害発生時の福祉避難所設置、再生可能エネルギーの利活用の促進) ②宮つ子ステーション③子育て短期支援事業④若年層への危険ドラッグ対策⑤女性活躍推進法に対する今後の取り組み



福田 智恵
(市民連合)

LRT導入まちの未来と駅西側の整備は

問 LRT導入の先進都市であるフランスのストラスブール市では、LRTを都市交通問題の解決のための単なる交通手段としてではなく、公共空間の再構成やまちの美化などの装置として使い切っており、市民生活の質の向上を具現化していた。

①LRT導入だけではまちは変わらない。LRTで宇都宮をどのように変えていくのか。また、市長の描く20年、50年先の宇都宮の未来は。
②LRTの駅西側の計画策定及び着工はいっつ頃を目途にしているか。

答 ①市内各地域の歴史や文化、コミュニティなどを後世まで引き継ぎ、

地域の強みや個性が発揮できるよう、日常生活に必要な機能を備えた地域拠点や、市域全体の成長を牽引する高次元・広域性を備えた都市拠点などを形成していく。

そして、公共交通ネットワークを充実させることで、各拠点間を結び、活発な交流が促進されることで、市全体として強く光り輝ける独自の都市構造として、ネットワーク型コンパクトシティの形成を図っていく。

②今後、沿線の教育施設へのヒアリングや生活行動実態調査の結果などを踏まえ、桜通り十文字付近からのさらなる延伸の必要性を含めたLRTの整備区間や既存のバス・鉄道との連携などを検討していく。

その他の質問項目

①地域産業・経済の持続的な発展②地域包括ケアシステムと地域づくり③成年後見人制度④訪問型病児保育⑤相談窓口での適切な対応⑥教育行政